

玉造厚生年金病院広報誌

夕映え

2007 夏号 vol.12

— 理念 —

1. 私たちは、医療人としての責任を自覚し、研修をおこたらず安全で水準の高い医療の提供に努めます。
2. 私たちは、患者さまが自立した生活を送れるよう身体機能の回復、維持、日常生活動作の改善を支援します。
3. 私たちは、「いつも笑顔で真心こめて」をモットーに、患者様の立場に立った心温まる医療を行います。
4. 私たちは、地域の人々のために、保健・福祉活動の充実に努めます。



“くすり”の変遷

薬剤部長 和原 欣司



薬の移り変わりについてお話しします。薬は大きく分けて内服薬・注射薬・外用薬の三種類に分類されますが、このいずれの分野もひと昔前より大きく変化しています。

まず、内服薬ですが、昔は粉薬やカプセル剤、糖衣錠がほとんどでしたが、今はというと新薬として発売される薬のほとんどは薄いフィルムコーティングを施した小さな錠剤となっています。これは、粉薬にみられた入れ歯のすき間に入りこんでしまうような事例、カプセル剤においては多くの薬を一度に飲み込もうとすると口の中で水に浮き、また糖衣錠のような大きな錠剤は沈み一度に飲み込めないなど、服薬に関して不都合が多く、この解消と製剤技術の進歩で次第に錠剤は小さく現在のような形状になってきました。また最近では、水なしで飲める口腔内崩壊錠や週一回の服用で毎日服用するのと同じ効果ある薬など、患者の利便性を追及した薬も発売されています。

一方注射薬はというと、アンプルやバイアルを思い出しますが、最近ではあらかじめ薬液をシリンジに充填、キット化した「ディスポーザブル」製剤も多数発売されるようになりました。これは細菌汚染・異物混入・取り違い防止等のリスクを軽減し、なおかつ施設のコストカットにもつながる製品です。

外用薬においてはTDDS製剤（経皮吸収型製剤）が開発されたということに尽きます。これは、いままで皮膚からは吸収されなかった薬剤を皮膚から直接吸収できるようにした貼り薬の技術です。シップに始まり狭心症・喘息・ニコチン製剤・アルツハイマー治療薬（日本未発売）・NASAの宇宙酔い防止薬など多様な分野の薬に応用されています。また、現在はまだ海外のみの販売ですが、糖尿病患者が自己注射していたインスリンを肺の中で吸収できるようにした吸入型インスリンも発売されています。今まで注射しか方法のなかった糖尿病患者を、注射の痛みから解放する画期的な薬剤も開発されています。このようにみなさんのまわりにある薬も、医学・製剤技術の進歩とともに患者の利便性・コンプライアンスの向上のために常に進化し続けているのです。

医療の現場から ～治療トピックス～

単顆人工膝関節置換術をご存知ですか？

整形外科医長 **大西 勉**



変形性膝関節症や大腿骨顆部の骨壊死のような疾患に対して人工膝関節置換術という治療法が選択されることがあるのは周知のことと思います。しかし人工膝関節置換術には人工膝関節全置換術（TKA）と単顆人工膝関節置換術（UKA）があるのを御存知でしょうか？

人工膝関節全置換術は一般的に施行されている人工膝関節置換術のことですが、単顆人工膝関節置換術というのはあまりなじみのない治療法だと思います。

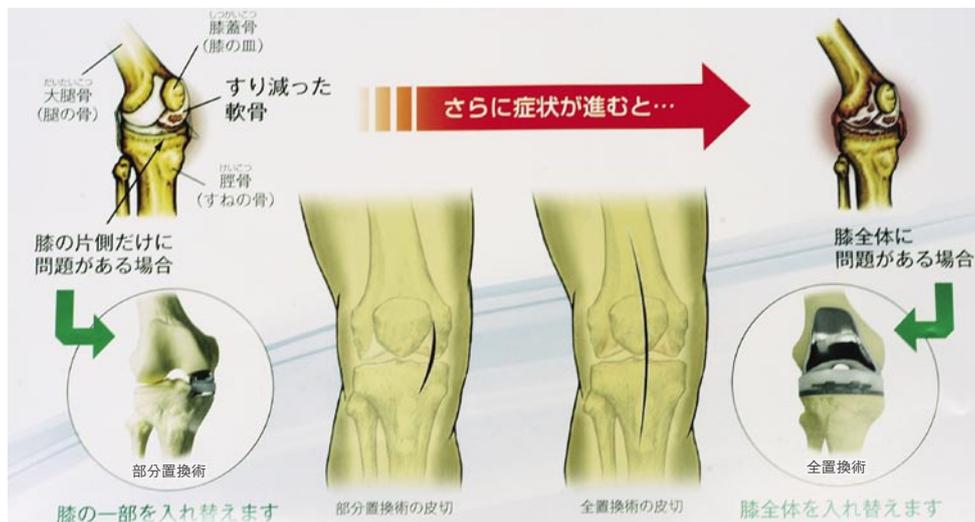
膝関節には内側、外側、膝蓋骨との間と3つの関節があります。人工膝関節全置換術はこの3つ全ての関節を人工関節に置換（膝蓋骨表面は置換しない場合もあります）する方法です。それに対して単顆人工膝関節置換術はそのうち内側（もしくは外側）の一カ所のみに変化がある場合にその部分のみを人工関節に置換する方法です。

手術は片側しか操作しない為、侵襲は少なく出血も少量です。リハビリテーションも侵襲が少ないため人工膝関節全置換術に比較して早く目標達成ができることも利点と言えます。

このような利点のある単顆人工膝関節置換術ですがその適応は限られています。まず病変が内側（もしくは外側）の一カ所のみに変化があること、靭帯に損傷がないこと、変形が少ないこと、などの条件に当てはまる場合のみ適応となります。

したがって術前の検査と手術中の所見が非常に大切です。単顆人工膝関節置換術を施行する予定であっても手術中に前述の条件が満たされなくなれば人工膝関節全置換術に変更しなければなりません。特に高齢者の場合検査所見ではっきりしなかった病変が手術中に見つかると変更が余儀なくされることもあります。

当院では単顆人工膝関節置換術の適応になりそうな症例には術前にMRIを撮影し、靭帯や半月板などの異常の有無、病変の範囲、他の病変の有無などを確認した上で手術をお勧めしています。また前述のように手術中に病変が見つかり人工膝関節全置換術に変更になる場合もありますので、この手術を施行する際には単顆人工膝関節置換術の手術と人工膝関節全置換術の手術の両方を準備したうえで手術を施行しています。この手術を希望される方は主治医にご相談下さい。



シリーズ① 今なぜ“メタボリックシンドローム”？



内科（消化器科）部長 芦沢 信雄

2006年の日本人平均寿命は女性が85.81歳で世界第一位、男性は79.00歳で世界第二位と現在に至るまで一貫して伸びる傾向にあります。しかし、出生率の低下に伴い超高齢化社会へと移行しつつあり、社会経済を支える労働人口の確保が危惧されています。そして近年、食生活の欧米化に伴って若い人たちも含めて肥満、糖尿病、高脂血症が激増しているという現状も気がかりです。

極端なことを言えば、欧米人が弱肉強食の中を生き抜いてきた民族の子孫であるのに対して、日本人は厳しい環境に耐え、少ない食料でも栄養を効率よく貯蔵し飢餓に耐えられる体質（節約体質）を持った者だけが生き残り子孫を残すことができたのです。このような節約体質の日本人は欧米人と比べて飢餓に強い一方で過食による肥満に対しては非常に弱く、**図-1**のように“**内臓脂肪型肥満**”を介して、高血圧、糖尿病、高脂血症、そして脳梗塞や心筋梗塞へと進みやすく、これが“**メタボリックシンドローム**”なのです。“**内臓脂肪型肥満**”とは**図-2**に示すように皮下よりも内臓側に脂肪が貯まった状態で女性よりも男性に多く、皮下脂肪型よりも問題となります。

ところで20歳以上の男性を見渡してみてください。なんと腹の出た人の多いことか！この中に危険なメタボリックシンドロームの人がかなりいるはず。その上**図-1**に示したように**ストレス**、**飲酒**、**喫煙**が重なると危険率はさらに倍増します。このままでは日本の先行きが危ぶまれるため、政府も対策に乗り出して来たわけです。“**メタボリックシンドローム**”は決して、ただの肥満ではありません。くれぐれも甘く見ることがないようにしてください。次回のこのコーナーでメタボリックシンドローム診療の現状と問題点について説明いたしますが、今すぐにでもメタボリックシンドロームについて詳しい内容を知りたい方は、当院内科外来または整形外科外来にあるポスターと説明用冊子をご覧ください。

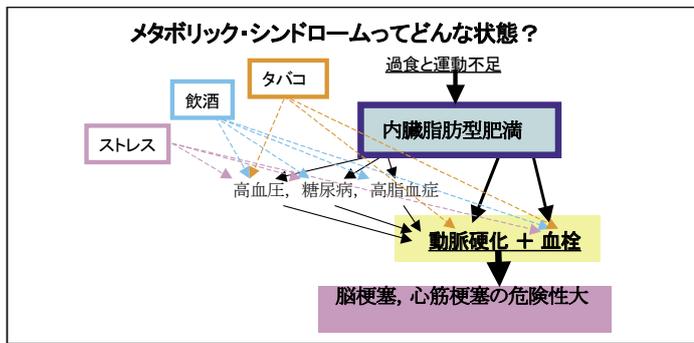


図-1

図-2

肥満の分類（どんな肥満が危ないの？） < 臍部横断面の腹部CT画像 >

内臓脂肪型肥満 の方が危ない！ **皮下脂肪型肥満**

青: 内臓脂肪 赤: 皮下脂肪

ガーデニング ～癒しの空間～

歯科口腔外科外来の近くのドアから外に出ますと、歩行訓練が出来る屋外訓練場があります。

ここにはアスファルト舗装路・砂利道・飛び石・スロープ・階段等、変化に富んだ歩行訓練が出来るようになっていて、コースの周囲には桜やツツジ等各種の花木が植栽され、花の咲く季節には目も楽しませてくれています。また、屋外訓練場にはベンチも設置されており、日和のいい時には患者さまをはじめ職員にとっても憩いの場所となるように設計されています。

ところでこのコース脇の花木の剪定、雑草の草刈は、業者に依頼し定期的な作業を行っていただいておりますが、雑草の成長の速さにはついていけず、せっかくの穏やかな空間もただの草地でした。そこで、少しでも皆様方が気持ちよく歩行訓練や散歩に利用され、季節の花々を楽しんでいただけるようにと、職員有志でガーデニング作りを手掛けることとしました。まだ活動は始まったばかりで、皆様を和ませるまでには至りませんが徐々に作り上げていきたいと考えています。



職員紹介



森脇 伸二郎
整形外科医師
平成19年4月1日採用

平成19年4月から山口大学整形外科より赴任して参りました。生まれは山口県で、愛知県で大学生活を送り、卒業を機に山口県に帰りました。こちらに引っ越してきて、日常の激務(?)で痩せる思いはありますが、食生活は肉・魚共においしく、実際は肉体的に日々成長している次第です。

当院に赴任して4ヶ月が経過しましたが、まだ戸惑うこともあります。スタッフの方々の熱意にご厚意に接し、一層張り切っております。今後ともよろしくお願いたします。



石部 佳子
回復期リハビリ担当医師
平成19年4月1日採用

平成19年4月より回復期リハビリ棟(東3病棟)を担当しています。今まで麻酔に従事していたせいか、戸惑う事も多いですが、周りのスタッフの方々が皆親切なので楽しく毎日を過ごしています。

滋賀県の琵琶湖のほど近くで生まれたのですが父が転勤族だった為、主に東日本(東京、名古屋、北海道)で育ちました。三重県の大学を卒業後はずっと京都、滋賀に住んでいました。そんな私が縁もゆかりもない松江に来たわけですが、一番驚いたことは温泉、特に日帰り温泉の多さとその安さです。もともと温泉好きだったのですが、こちらに来てからはほぼ毎週末どこかの日帰り温泉にお世話になっている次第です。まだまだ未知の温泉があるらしいので何とか島根県の温泉全制覇を目指したいと思っています。



医療情報室の業務とは

医療情報室では、病院内の電子化された情報を扱う設備や端末機の維持管理をしています。

現在では、パソコンが必需品と化してきていて、当院においてもパソコンなしでは業務に多大な影響を及ぼす程になってきています。

病院内にはたくさんのパソコンがありますが、その多くはLANと言うケーブルで繋がっており、1台のパソコンにある情報を複数台のパソコンから見る事や、1台のパソコンから複数台のパソコンに情報を送る事もでき、またファイルやソフトなどを利用して情報やデータを共有する事ができる仕組みになっています。

例えば、病棟から薬剤部や検査室、放射線室といった所にパソコンを使って指示を出す事ができ、また、その指示を他のパソコンから確認する事もできるので、電話で各部署に何度も問合せたり、同じ様な内容の問合せが何度もあったり、と言うような日々の確認作業の手間を減らす事ができ業務の効率化にも役立っています。

普段はこのように便利な設備や機器ですが、突然機嫌を損ね、動作不良を起こす事があります。動作不良の状態はその都度様々で、まったく動かなくなっている場合もありますし、現場に到着してみると既に動き出している場合や、ただコンセントが抜けているだけと言う事もあります。

動作不良が起きるのは、やはり何か原因がある訳なのですが、その原因が操作の誤りなのか、機械や部品の不具合なのか、それともソフトやアプリケーションの不具合なのかと色々考えられ、特定できず対応に苦慮する事もありますが、できるだけ早く通



医療情報室スタッフ

常の状態に復旧する事を第一に作業を進めています。

今後ともますます進化していくことが予想されるこの世界ですが、既存設備や端末機の維持管理に勤め、電子化により得られた有益性・利便性を損なう事無く幅広く利用して頂けるよう、対応・対策に努めたいと思います。



「玉造人工関節友の会の集い」開催しました

近頃では、インターネットや書籍にて最新の治療方法を知ることが出来ますが、同時期に同じような手術を受けた患者同士の触れ合いは出来ませんでした。また、退院後の日常生活に戸惑うことも多々あると思われます。

そこで当院では、人工関節手術を受けられた患者さま及びその家族や、人工関節手術を予定されている方々に対し、人工関節に関する正しい知識を得て、また同じ病気の仲間との交流をすることで情報交換をし、日常生活の向上に努めたり励ましあうことを目的に、今年4月に『人工関節友の会』を発足しました。同21日には、玉造厚生年金保養ホームにて第1回目の友の会の集いを下記の内容にて開催し、ご家族も含め67名もの会員の皆様のご参加のなか、医師・看護師を交え参加者同士の交流を図ることが出来ました。この様子は『人工関節友の会だより』に掲載し会員の皆様にお届けしております。

昨年11月より募集していた会員数も、現在では300余名となっています。今後も年1回のこの『友の会の集い』を開催し、講演で最新の医療情報などをお伝えするとともに、会員同士、医療スタッフとの交流を行っていききたいと思います。（文責 人工関節センター 川上 美里）

◆ 第1回玉造人工関節友の会の集いプログラム

- 1. 「膝の人工関節手術を受けた方の日常生活について」
小谷 博信センター長
- 2. 「人工関節全置換術について」 池田 登整形外科部長
- 3. 民謡 グループファミリー津森芸能ご一行さま



表紙の写真

ひまわり【向日葵】 一つの花は千の花

斐川平野で咲いていたひまわりです。ひまわりの大きな花は、小さな花が集まってできています。ひまわりの語源は日廻り、つまり日を追って回る花という意味です。実際に若い茎や咲き始めの花は太陽を追って回ります。しかし、花がよく開いた後は動かなくなり、多くの花は東向きに咲きます。花言葉は「敬慕・あなたを見つめる」です。日本に伝わったのは、17世紀頃で、元禄の時代から、ひまわりと呼ばれていたそうです。園芸用、油糧用、食用と幅広く利用されます。「同じ方向を見つめながらも、自分らしさを失わない。」ひまわりのようにでありたいと思います。(F.S)

編集後記

今年の夏はラニーニャ現象とやらで、いつにも増して厳しい暑さが続いています。松江市の8月(20日まで)の最高気温を見てみると、昨年と比較して35℃以上の猛暑日が4日多い6日間あり、一日の平均気温が30℃を越す日が4日間もありました。このような状況で日中、家の中は蒸し風呂状態となり、外に出ると太陽が容赦なく降り注ぎ、早くも夏バテ気味となっています。さて暦の上では秋ですが、スポーツ・行楽・食欲・芸術と秋を満喫できるように、夏バテの方は早く解消して、快適な秋を迎えましょう。(K.T)

■ 編集・発行責任者 上尾 豊二
〒699-0293 島根県松江市玉湯町湯町1-2
TEL 0852 (62) 1560
<http://tamahosp.jp>

夕映えのバックナンバーはホームページでもご覧になれます。